

□第14回大津市中心市街地活性化協議会 議事録

---

日時：平成23年3月25日（金） 午後3時00分～午後5時00分

場所：明日都浜大津1階 大会議室

参加者： 委員 酒井、石川、遠藤、杉本、木村、高田、宮崎、三上、山田、磯村、  
林、井上、北嶋、戸田、山口、八森、柴山、福井、白井、山本  
勝部、松崎  
オブザーバー 笠松、西、佐野、徳永、西村、加藤  
事務局 山下、今井  
大津市 高野、高木、田山

（順不同・敬称略）

---

1. 開会（まちづくり大津・事務局）

※開会にさきだち、3月11日に発生した「東日本大震災」によってお亡くなりになられた方のご冥福を祈り、全員で黙祷。

2. あいさつ（酒井会長）

3. 報告

（1）平成22年度の取り組みと平成23年度の取り組みについて

- ①「町屋利活用プロジェクト会議」について、白井委員及び柴山委員が資料に基づき説明。
- ②「おもてなし創造発信プロジェクト会議」について、福井委員及び山本委員が資料に基づき説明。
- ③「大津市中心市街地活性化協議会支援事業の成果と課題について」サトルホレティヴの加藤氏より説明。

（2）第二種大規模小売店舗立地法特例区域の指定について

都市計画部の杉本政策監より説明。

（3）大津百町の歴史的資源を活かしたまちづくり研究会について

高田委員より、その成果について説明。

（4）まちのみどころ再発見ムービー「大津いいトコ撮り」について

大津商工会議所の西村さんより説明。

4. 議題

（1）平成22年度 大津市中心市街地活性化協議会の収支について

1）事務局より、資料に沿って説明。

2）木村委員（監事）より平成22年度大津市中心市街地活性化協議会収支決算の監査についての報告。

※この後、酒井会長より平成22年度大津市中心市街地活性化協議会の収支について審議を諮った結果、全員「異議なし」の声で承認された。

(2) 平成 22 年度 大津市中心市街地活性化協議会の予算(案)について  
事務局より、資料に沿って説明。

<意見交換>

- ・大津市からの補助金が平成 22 年度に比べ、100 万円減額になっているが！
- ・諸般の事情を考慮して、平成 23 年度はこの予算内で頑張っていくしかない。

※この後、酒井会長より平成 23 年度大津市中心市街地活性化協議会の予算(案)について  
審議を諮った結果、全員「異議なし」の声で承認された。

(3) 中心市街地商業活性化アドバイザー(協議会)派遣事業制度の活用について  
事務局より、今後「中心市街地商業活性化」事業を進めていくには、専門家(加藤氏)の支援が必要だと考え、厳しい財政状況の中、市からの補助金も減額されている状況も踏まえ、国の専門家派遣制度を活用してはどうかと提案した。

[活性化アドバイザー派遣の条件]

- 1) 国に認定された「中心市街地活性化協議会」の承認が必要。
- 2) 申請は「中心市街地活性化協議会」が行う。
- 3) 活性化アドバイザーは、国に認められた 75 名のうち。
- 4) 費用負担は、国(独立行政法人中小企業基盤整備機構) 3分の 2、アドバイスを受ける側(まちづくり大津)が 3分の 1(16,700/日)  
※年間予定日・45 日(16,700×45=751,500 円)
- 5) 最初の 5 日分は全額国の補助負担。
- 6) 契約は、国(独立行政法人中小企業基盤整備機構)とアドバイザー(加藤氏)で交わす。
- 7) 受益者(まちづくり大津)の取締役会の承認必要。

※「中心市街地商業活性化アドバイザー(協議会)派遣制度の活用」について、大津市中心市街地活性化協議会として審議を諮った結果、全員「異議なし」の声で承認された。

(4) 大津市中心市街地活性化基本計画の関連事務について  
大津市都市計画部の杉本政策監より、下記 2 項目について資料に沿って説明。

- 1) 中心市街地活性化基本計画のフォローアップ報告について
- 2) 中心市街地活性化基本計画の変更について

<意見交換>

- ・大津駅前西地区の計画範囲がずれているのではないかと？
- ・少しずれている・
- ・もう少しエリアが広いと思うので、訂正をお願いします。
- ・了解しました。

※「大津市中心市街地活性化基本計画の関連事務について」の審議を諮った結果、全員「異議なし」の声で承認された。

次回 9月6日（火）午後3時より

5. 閉会